

エコユニット活動報告書 (2025. 7～2026. 6)

＜エコユニット情報＞

ユニット名	エコてく。KCT		ユニット No.	10010030
構成人数	全 体 (※1)	35	所属する エコビープル	
母体となる組織 (※2)	企業 (団体) 名	株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー		
ホームページ	URL	https://www.jpckt.com/		

▲活動報告 (1)	
【活動名称・タイトル】	
オフィスのエコ活動	
【活動の時期・期間】	
2014 年 1 月～現在	
【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います	
クリーンオフィス、グリーンオフィスを社員一人ひとりが実践する。活動内容は、以下の通り。 ・本社及び各事業所メンバーによる、ペーパーレス化の実施。 ・紙コップを使用しない。(マイボトルの推奨) ・社内用書類の印刷簡素化(縮小印刷等) ・観葉植物設置(職場内緑化)。 ・離籍時の PCOFF 対応(節電)。 ・ISO14001 の取り組みに沿った、活動の可視化。	
【期待する活動の効果】	
・紙使用量の削減(森林伐採削減) ・消費電力の削減(発電量減少) ・目の保養(健康増進) ・カーボンニュートラルの方法論の実証実験(PoC)	
【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】	
新事業所は計画的にプリンター等を新設せず、ペーパーレス化などの対応を推進している。	
【実績】	
今回の取り組みは初めての取組みですか？ 継続した活動ですか？ ① 初めて ② 継続 (2014 年 1 月頃から)	
【ホームページ】 ※参照するページがあればURLをご記入ください。	
N/A	

▲活動報告 (2)	
【活動名称・タイトル】	
献血サポーター(日本赤十字社)	
【活動の時期・期間】	
2021 年 9 月～現在	

【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います 病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊いいのちを救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアをエコてく主体で、社内で啓蒙し、有志で実行する。(本年度 1 件)
【期待する活動の効果】 ・献血については、即時性及び直接的な社会貢献活動となるため、業務時間内での活動を認めると主に、献血協力者に対しては、社内で表彰を行うようにして、参加者を増やし、身近な社会貢献について、社内で醸成を図る。
【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組み】 昨年は、福岡、沖縄事業所を中心に事業所単位で、活動に参加した。今年度は、全社や各事業所単位で旗振り役を設置して、取組について周知を図る。
【実績】 今回の取り組みは初めての取組ですか？ 継続した活動ですか？ ① 初めて ② 継続 (2014 年 1 月頃から)
【ホームページ】 ※参照するページがあればURLをご記入ください。 https://www.ken-sapo.jp/supporters/show?prefecture_id=13

▲活動 【指定テーマ】
【活動名称・タイトル】 エコピーブルを増やすための活動（eco検定普及活動）
【活動の時期・期間】 エコピーブル活動(加入時期)から継続的に実施
【活動内容と成果】 …参加人数等の数値的な実績も詳しくご記入願います 当社エコ活動のチーム「エコてく。」の参加メンバーは、2025 年 6 月時点で 30 名になります。メンバーは、eco検定を含む環境に関連する資格試験の取得による、環境学習を積極的に行えるよう、該当資格の取得に補助や人事考課のプラス評価などの仕組みを取り入れ、「エコてく。」メンバーが主体的に向学心を持てるように取り組んでいる。(現在、4 名がeco検定を合格)また、「エコてく。」未参加のメンバーも社員全員及びその家族については、課外活動に参加できるように支援、広報活動を行う。また、環境に関わるその他のご当地の資格も事業所ごとに取得推進をはかり、本年度は、熊本事業所において、くまもと水検定を事業所メンバで取得を目指し、計 4 名が合格しました。
【期待する活動の効果】 環境に関する知識の醸成と、そこから当社の掲げるエコ活動への動機づけと日常生活におけるエコへの意識の向上とエコエバンジェリストとなることを期待している。
【現状の課題とその解決に向けた今後の取り組みについて】 資格取得しやすい環境作りが、会社全体で行われる必要がある。特に、持続可能な社会を目指すために、SDGs の取り組みを社内に浸透させていく必要がある。会社主体で、SDGs の活動イベントを開催して、啓蒙活動や動機づけを行っていく必要がある。また、資格試験に合格するだけでなく、継続的な学習として、世界自然遺産の見学やエコツーリズムなどに参加することで、発展的学習を図ってゆきたい。また、本年度は、社員に SDGsのピンバッチを配り、自社の取り組み含め、社外にもアピールをするように心がけた。
【実績】 今回の取り組みは初めての取組ですか？ 継続した活動ですか？ ① 初めて ② 継続 (2010 年 4 月頃から)
【ホームページ】 ※参照するページがあればURLをご記入ください。
【活動名称・タイトル】

★来年の計画や活動テーマ、抱負。

4 半期に一回行っている、社内でのエコに関する情報共有会は、オンラインにて継続的に実施し、社内での情報連携に努めた。なお、次年度は、上記活動を継続的に行うとともに、前年に引き続いて 1.SDGs 事業者としての取り組みを拡大する、2.地域ボランティア（貢献する） 3.環境に関する教育（広める） 4.環境に関する知識の醸成（学ぶ） 5.グリーンオフィスを推進（実践する） 6.個人で実践する の 6 つの活動分野を深化させ、特に地域ボランティアでは、社員参加型の地域貢献活動などを通じて、社員の環境活動への動機づけや気付きなどを醸成してゆき、社員のリベラルアーツ教育に一助となるような活動とする。特に、ボランティア活動では、各事業所ごとに地域の特性を生かした取り組みをおこなう。次年度は、東京、九州、沖縄の各拠点で、地域活動や地域オリジナルの資格取得などを推進していく。また、自社事業の活動で、持続可能な環境づくりに資するソリューション開発（エコフィード、カーボンニュートラル）など事業を推進し、持続可能な開発目標の達成を図って行く。